

分子科学研究所所長招聘研究会  
「未来を拓く学術のあり方：化学とイノベーション」

1. 主 催：日本学術会議化学委員会、分子科学研究所、日本化学会戦略企画委員会
2. 日 時：平成 25 年 8 月 20 日（火）13：00～18：00 （なお、終了後同所で交流会を行います。）
3. 場 所：岡崎コンファレンスセンター（愛知県岡崎市）

4. プログラム

- 13：00 挨拶 大峯 巖（分子科学研究所所長）  
趣旨説明 栗原 和枝（日本学術会議化学委員会委員長）  
「基調講演」
- 13：10-13：50 野依 良治（理化学研究所理事長）  
「科学技術立国における「国立大学」とは何か」  
「課題 1 化学領域での論文数減少について」
- 13：50-14：10 尾嶋 正治（日本化学会副会長，東京大学特任教授）  
「日本化学会での議論と提言」
- 14：10-14：30 中條 善樹（日本化学会副会長，京都大学教授）  
「欧文誌の躍進に向けた取り組み」
- 14：30-14：50 片岡 幹雄（奈良先端科学技術大学院大学理事・副学長）  
「ユニークな研究／教育運営：奈良先端科学技術大学院大学の取り組み」
- 14：50-15：10 朝日 透（早稲田大学教授）  
「ユニークな研究／教育運営：新しい大学院教育と TWIns での医理工融合の試み」  
コーヒーブレイク 15：10-15：30
- 「課題 2 化学とイノベーション」
- 15：30-15：50 橋本 和仁（東京大学教授，総合科学技術会議議員）  
「科学者は社会からの期待に如何に応えるか、応えられるのか？」
- 15：50-16：10 中川 健朗（内閣府総括参事官（科学技術イノベーション担当））  
「国家戦略としての科学技術イノベーション」
- 16：10-16：30 田中 一宜（JST 研究開発戦略センター上席フェロー）  
「科学技術戦略とアカデミアの役割～ナノテクの例から～」
- 16：30-16：50 鎌田 俊彦（文部科学省科学技術・学術政策局 企画官）  
「研究開発評価の課題・今後の在り方について」
- 16：50- 17：50 自由討論（参加者全員）「未来を拓く学術のあり方：化学とイノベーション」  
話題提供：有本建男（政策研究大学院大学教授、JST 研究開発戦略センター副センター長）

交流会 18：00-20：00（会費 5,000 円）

世話人： 大峯 巖（分子科学研究所所長）尾嶋正治（日本化学会副会長、東京大学特任教授）  
栗原和枝（日本学術会議化学委員会委員長、東北大学教授）

申込先 中根淳子（分子科学研究所） <[nakane@ims.ac.jp](mailto:nakane@ims.ac.jp)>

連絡先 栗原和枝（東北大学），小杉信博（分子科学研究所教授）